

事業番号	10 04 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	森林の適正管理及び保全に関する事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課				
		実施期間	S27 ～	E-mail	shinrin @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

- ・長野県全体で、約58万ヘクタールの森林が保安林に指定されており、公益的機能の発揮のために適正に管理、保全する必要がある。
- ・保安林以外の森林について、無秩序な開発を行うと土砂災害等の危険が高まるため、林地開発許可制度により適正な指導を行う必要がある。

2 事業目的

保安林及び林地開発許可制度に基づき森林を適正に管理することで、水源のかん養、土砂災害の防止といった公益的機能の維持増進を図る。

3 事業目的を達成するための取組

①保安林の適正な管理の実施

- ・保安林の指定、解除、指定施業要件の変更の手続きに必要な調査や所有者への通知を実施
- ・新規保安林指定箇所には標識を設置
- ・保安林管理システムの保守
- ・保安林の指定による損失を補償するため、損失補償額の調査を実施

②林地における無秩序な開発の防止の徹底

- ・森林の無秩序な開発を防止するため、林地開発許可制度に基づく調査、指導等を実施

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
①	保安林の指定施業要件の変更箇所の面積	ha	7,176	7,152	↘	5,458	↘	5,300	達成 森林整備を推進するため、15年間で旧基準で制定された指定施業要件をすべて新基準に変更することを目指す。
②	林地開発許可制度に係る違反行為に対する監督処分件数	件	1	0	↗	0	→	0	達成 森林を違法に伐採、開発することにより土砂災害等の危険性が高まるため、違反行為に対して事前に是正措置等の対策を講じ、対策がなされない場合の森林法第10条の3の規定による法的措置件数0件を目指す。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
1-1③	良好な生活環境保全の推進										

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	0	51,550	0	51,550	16,791	47,085	15.0
R6年度	0	41,463	0	41,463	12,423	33,660	15.0
R5年度	0	129,813	△ 9,900	119,913	88,086	116,657	15.0

事業番号	10 04 02	事業改善シート（令和 7 年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	森林の適正管理及び保全に関する事業			部局	林務部	課・室	森林づくり推進課		

7 主な取組実績と成果

①保安林の適正な管理の実施 ・会計年度任用職員延べ140月の雇用を行い、保安林指定施業要件の変更手続きに必要な調査の補助や書類の作成補助により、目標を上回る5,458ha分の変更処理を行った。 ・新規保安林指定箇所を周知するため、保安林標識を95本、83箇所へ設置した。
②林地における無秩序な開発の防止の徹底 過去の違反行為等を例に林地開発業務の研修会を実施し、業務への理解を深めた。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	保安林の指定施業要件の変更箇所の面積	R6年度推移	↘	R7年度推移	↘	達成状況	達成
事務担当者の研修や会議等での周知を図る等の取組により、保安林の指定及び指定施業要件の変更を進めた結果、前年度実績を下回ったものの、目標を上回り達成することができた。							
指標 ②	林地開発許可制度に係る違反行為に対する監督処分件数	R6年度推移	↗	R7年度推移	→	達成状況	達成
事前相談段階において、事業者に対して、林地開発許可制度の説明を徹底したことで、林地開発違反は0件であり、目標達成した。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題 保安林の適正な管理に資するため、旧基準で制定された保安林の施業要件を緩和する変更事務を進めることが重要。令和 7 年度末時点の進捗率は約63%であり、全面積の施業要件を変更するには長期の時間を要する（令和 7 年度末時点：約63%（92,006ha／145,156 ha））。
(2) 事業改善の方策 現地からの要請の把握に努め、間伐等の施業計画のある保安林や大面積の水源林について優先的に指定施業要件の変更を進める。 引き続き市町村・関係部局と情報を密に共有しながら林地開発案件調査を行い、早期に違法開発を発見し、適正な指導を行う。

事業番号	10 04 02	細事業一覧（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	森林の適正管理及び保全に関する事業			部局	林務部	課・室	森林づくり推進課		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	保安林整備受託事業		30,265 千円	22,539 千円	29,441 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	保安林指定・解除調査	直接	1号から3号の保安林の指定及び解除に係る会計年度任用職員の雇用、境界確認、林況調査、所有者への通知 会計年度任用職員を延べ48ヵ月雇用、保安林の指定260ha実施		
2	保安林適正管理調査	直接	保安林管理図の作成、新規指定された保安林の図面情報の電子化 保安林管理図2図作成、新規指定保安林の電子化11件実施		
3	保安林整備推進事業	直接	1号から3号の保安林における指定施業要件の変更に係る会計年度任用職員の雇用、境界確認、所有者への通知 会計年度任用職員を延べ39ヵ月雇用、指定施業要件の変更5,458ha実施		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	保安林整備管理事業		84,283 千円	9,791 千円	15,836 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	保安林指定・解除等調査	直接	4号以下の保安林における指定、解除、指定施業要件の変更に係る会計年度任用職員の雇用、境界確認、林況調査、所有者への通知 会計年度任用職員を延べ17ヵ月雇用、保安林の指定等の調査14箇所実施		
2	保安林管理業務	直接	保安林標識の購入と設置補助、会計年度任用職員の雇用、台帳整備 保安林標識95本を設置、会計年度任用職員を延べ4ヵ月雇用		
3	保安林業務支援システムの保守	委託	保安林業務支援システムを適正に運用するためのシステム保守 システム保守業務1式		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	保安林損失補償事業		1,284 千円	1,280 千円	1,102 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	保安林損失補償金	直接	1号から11号保安林における立木の伐採制限に対する木材を販売した場合の利子相当分の損失を補償 損失補償件数50件		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
4	林地開発許可制度等実施事業		825 千円	50 千円	706 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	林地開発許可制度等実施事業	直接	開発許可調査、審査、許可条件履行調査、指導等、森林審議会の開催 森林審議会（保全部会）を2回開催		